

2024年9月25日

各位

Global X Japan 株式会社

## 個人投資家こそ ETF の活用を！

### おすすめの活用法と、プロに聞く今注目の ETF 銘柄 3 選

2024 年は新 NISA のスタートや日経平均株価の史上最高値の更新に始まり、8 月上旬には歴史的な下げ幅も記録するなど、資産運用業界にとって話題に事欠かない年になりそうです。

当社の取り扱う ETF においては、8 月上旬の株価の大幅下落までは、個人投資家からの資金流入規模が新 NISA 前と比較して 4.5 倍(※)まで拡大していました。

そこで今回は、個人投資家が ETF に投資する際に抑えておくべきポイントや、株価下落時の考え方、今注目の ETF 銘柄について解説します。

※各証券会社への当社ヒアリング



(左から)

Global X Japan 株式会社

営業第一部

ディレクター 千田 真

部長 長谷川 誠

アシスタント・ディレクター 山田 陽太

## コア・サテライト投資戦略で、サテライトに旬や気になるテーマを組み入れ

Q、個人投資家が新 NISA で ETF を買う時のポイントは？

長谷川

「コア・サテライト投資戦略」に則って、安定運用する「コア」と、積極的に運用して高いリターンを目指す「サテライト」に分けて考えてみてはいかがでしょうか。

具体的には「コア」をメインに据えて、「サテライト」にその時々旬なテーマを組み入れることをお勧めします。



当社ではコアはもちろん、サテライトとなりうる幅広いラインアップを揃えています。その上、多くの商品に少額から投資をすることができます。

資産運用は、資産を増やすことが絶対的な目的ではありませんが、自分自身が興味・関心を持っている分野に投資をすることで、生活に彩りを加えるという観点や、視野が広がるという利点もあると考えています。

例えば半導体関連の商品に投資をしていたとすると、日々の半導体関連のニュースが他人事ではなく自分ごとになる、という具合です。

個人投資家の方であれば、まずは気になる会社やテーマ（分野）に、少額からでも投資をしてみてはいかがでしょうか。投資を通じて世の中の動きに対する情報感度が高まり、生活にハリが生まれるのではないかと思います。

### 初心者こそ、ドルコスト平均法で下落の恐怖に打ち克つ！

Q、直近では8月に日経平均株価の大幅な下落がありました。投資初心者は日々の価格変動に一喜一憂してしまいましたが、株価の下落や資産の減少の恐怖に打ち克つコツはありますか？

#### 長谷川

正直、我々のような金融機関で働いている人間にも、1週間後や1年後の相場は分かりません。結果として、究極的には誰にも分からない世界です。

だからこそ、月並みではありますが初心者こそ「ドルコスト平均法」で、常に一定の額を定期的に投資に回すことが大切だと考えます。株価の下落局面では「資産が減ってしまった」という事実はある一方で「今なら安く買える」と、ポジティブに考えることも大切だと考えています。

また、運用中のリスク資産（株式やETF等）を売るという行為は、「現金が必要だから換金する」という考え方も大切です。「高値で売りたい」という思いが先行すると、後々「あの時、売らなければよかった」と後悔する原因にもなります。家や車など高額な買い物やお子さまの学費など、明確な現金の使い道がある売却であれば、自分自身が納得をすることができます。

実際、機関投資家のようなプロの投資家も同様です。例えば、事業計画の達成のため利益計上が必要だから株式を売却する、といった具合です。

個人投資家の皆さんが、その時々々の株価だけを見て判断し売買することは難しいからこそ、「今すぐに使わない余剰資金は運用し続ける」という発想が大切です。

特にインフレ下の経済では物価は上昇し続けます。物価が上がり企業の業績が改善されれば、株価も上昇すると考えられます。こうした流れの恩恵を受けるべく余剰資金は投資に回し、必要な際に現金化をすれば良いと考えています。

## プロが語る、注目のETF銘柄3選

Q、今、注目のETFを教えてください。



## 山田

直近で注目しているのは「[グローバル X 革新的優良企業 ETF \(178 A\)](#)」です。世界のイノベーションをリードしている優良大型企業 15社に集中投資をする、今年の4月に上場したファンドです。個人投資家からの注目度も高く、資金もかなり流入しています。

15社の内訳としてはGAFAM (Google、Amazon、Facebook (現・Meta)、Apple、Microsoft)をはじめ、以下の4つの分野で代表的な銘柄をピックアップしています。

- (1) 半導体
- (2) AI・ビッグデータ
- (3) ヘルスケア・バイオテクノロジー
- (4) 次世代モビリティ

こうした集中投資ファンドは当社のETFを皮切りに、他社も積極的に出していますが、他社との大きな違いは、ヘルスケア関連銘柄の取り扱いです。当社ではヘルスケア分野もイノベーションの1つと捉えており、肥満症治療薬の開発をして注目を集めているイーライ・リリー社も組み込んでいます。今後、人類の生活を豊かにするテクノロジーの1つとして期待できる銘柄です。そのため世界的な優良企業に集中投資できるのが、こちらのETFの大きな魅力です。



## 千田

私からご紹介したいのは、「[グローバル X グローバルリーダーズ-日本株式 ETF \(2641\)](#)」です。例えば日経平均株価の構成銘柄は日本を代表する大企業が中心ですが、225の銘柄で構成されているため業種ごとの浮き沈みもあります。

その点、こちらのETFは海外売上比率の高い銘柄を中心に厳選した、20銘柄に集中投資をすることができます。日本を代表する企業の中でも、特に海外で強い銘柄に投資をするメリットを享受できます。

## 長谷川

私からは「[グローバルX フィンテック-日本株式 ETF \(2836\)](#)」をご紹介します。その名の通り、フィンテック関連事業を行う日本企業へ投資ができる ETF です。

ここ数年で、私たちの生活を取りまく大きな変化の一つが「お金」です。現金をほぼ使わなくなり、クレジットカードや電子マネーが普及した他、スマートフォンがあれば財布を持ち歩かなくても良い時代になっています。

貝殻から始まった「お金」が硬貨や紙幣になり、ついにはデジタルになりました。もはや手に触れるものではなく、「信用」というお金が持つ究極の価値だけが残りました。お金がここまで進化したのは、有史以来はじめてのことです。

これほどの大きな変化がありながら、フィンテック関連の銘柄の株価が大きく反応をしていないため、個人的には今後の動きに注目しています。

## 山田

すでに銀行をはじめとする金融機関関連の銘柄に投資をしている方は、その一部分をフィンテック関連銘柄に置き換えるのも良いかもしれません。

Q、新 NISA を機に、投資を始めようかと迷っている投資初心者にメッセージをお願いします。

## 長谷川

新 NISA は世界的に見てもかなり優遇された制度です。例えばアメリカには IRA という非課税年金口座がありますが、限度額は年間 6,000 ドルであり、現時点での為替レートに換算すると日本円にして 85 万円程度です。

一方、新 NISA ではつみたて投資枠と成長投資枠を合わせると年間で最大 360 万円が非課税になるので、是非とも積極的に活用いただき、その中で当社の ETF を活用していただけたらうれしいです。

(取材・執筆／藤井恵)

## 【会社概要】

商号	Global X Japan 株式会社
所在地	〒100-6121 東京都千代田区永田町二丁目 11 番 1 号 山王パークタワー21 階 03-5656-5274（代表）
事業の内容	投資運用業、投資助言・代理業
設立	2019年9月
資本金	50億円（資本準備金を含む）
株主	Global X Management Company, Inc.（50%） 大和アセットマネジメント株式会社（40%） 株式会社大和証券グループ本社（10%）
拠点	東京
役員	代表取締役会長 張峯碩 代表取締役社長 姜昇浩
役職員	69名
HP	<a href="https://globalxetfs.co.jp/index.html">https://globalxetfs.co.jp/index.html</a>

## 【本ニュースレターに関するお問い合わせ先】

[info@globalxetfs.co.jp](mailto:info@globalxetfs.co.jp)

Global X Japan 株式会社  
金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第 3174 号  
一般社団法人日本投資顧問業協会会員  
一般社団法人投資信託協会会員

**免責事項**

- ・本資料は会社概要及び投資戦略等をご紹介することを目的としており、資料に含まれる商品の勧誘・販売を目的とした資料ではありません。
- ・本資料に記載されている内容、情報及びデータ等につきましては、本資料作成時点のものであり、各種要因により変動します。
- ・本資料に関する一切の権利、義務は、情報提供者に帰属し、情報提供者の事由により内容が変更・修正されることがあります。
- ・本資料の情報に基づく判断については、閲覧者ご自身の責任のもとに行うこととし、万一本資料の情報により損失を被ったとしても、情報提供者は一切の責任を負うものではありません。
- ・本資料の著作権は、情報提供者に帰属します。

**・ファンド（投資信託）のリスクについて**

ETFは、値動きのある有価証券等に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、投資元本が保証されているものではなく、これを割込むことがあります。信託財産に生じた利益および損失は、すべて投資者に帰属します。投資信託は預貯金とは異なります。基準価額の主な変動要因については次のとおりです。

株価指数先物取引の利用に伴うリスク、株価の変動（価格変動リスク・信用リスク）、リートの価格変動（価格変動リスク・信用リスク）

優先証券の価格変動（価格変動リスク・信用リスク）、公社債の価格変動、カバードコール戦略の利用に伴うリスク、為替リスク、カントリー・リスク、その他（解約申込みに伴うリスク等）

- ※ 基準価額の動きが指数と完全に一致するものではありません。
- ※ 基準価額の変動要因は、上記に限定されるものではありません。
- ※ 設定・交換のお申し込みにあたって、詳しくは投資信託説明書（交付目論見書）の「投資リスク」をご覧ください。
- ※ 詳しくは、金融商品取引所で取引をされる際にご利用になる証券会社にお訊ねください。

**・お客さまにご負担いただく費用**

ETFに係る費用（金融商品取引所を通してETFに投資するお客さまの場合）（2024年9月現在）

ETFの市場での売買には、証券会社が独自に定める売買委託手数料がかかり、約定金額とは別にご負担いただきます。（取扱会社ごとに手数料率が異なりますので、その上限額を表示することができません。）

保有期間中に間接的にご負担いただく費用として、以下の通り運用管理費用（信託報酬）がかかります。

- ・グローバル X 革新的優良企業 ETF (178A) : 年率 0.4125% (税込)。
- ・グローバル X グローバルリーダーズ-日本株式 ETF (2641) : 年率 0.3025% (税込)
- ・グローバル X フィンテック-日本株式 ETF (2836) : 年率 0.649% (税込)

※その他の費用・手数料としては、組入る有価証券売買時の売買委託手数料、先物取引・オプション取引等に要する費用、監査報酬等を信託財産でご負担いただきます。

- ※ 「その他の費用・手数料」については、運用状況等により変動するため、事前に料率、上限額等を示すことができません。
- ※ 手数料等の合計額については、保有期間等に応じて異なりますので、表示することができません。また、上場投資信託および上場不動産投資信託は市場価格により取引されており、費用を表示することができません。
- ※ 詳しくは、金融商品取引所で取引をされる際にご利用になる証券会社にお訊ねください。
- ※ 設定・交換のお申し込みにあたっては投資信託説明書（交付目論見書）の「ファンドの費用・税金」をご覧ください。